

## 公共施設に関する「公民連携」の取組

### 小中学校クール化プロジェクトのサウンディング型市場調査

教育委員会が実施する、長野市立小中学校クール化プロジェクトに関するサウンディング型市場調査について、多くの事業者様に参加をいただき、7月中旬に個別対話方式で提案をもとに意見交換いたしました。対話に参加いただいた皆さまありがとうございました。今回実施した市場調査の結果の概要は9月中旬に公表する予定です。

夏季の猛暑対策としての冷房設備の整備手法などについて、リース方式やPFI方式を含め、様々なご提案をいただきましたので、長野市に最適な事業手法を検討してまいります。

### 飯綱高原観光施設に関するサウンディング型市場調査

長野市では、近年のスキー人口減少や温暖化による雪不足の影響を受け、飯綱高原スキー場の経営が大変厳しい状況にあります。そこで、飯綱高原における新たな観光戦略の展開に向けて、効果的・効率的な事業手法を検討するに当たり、市場の動向や事業アイデア、民間事業者の意向等について、広くご意見をお聞きする『飯綱高原スキー場民営化・「(仮称)山の駅 飯綱高原」整備等に関するサウンディング型市場調査』を実施します。

#### 【調査項目】

- 1 飯綱高原スキー場民営化に係る譲渡条件の把握
- 2 実現可能性の高い事業スキームによる「(仮称)山の駅 飯綱高原」整備手法・運営形態への反映
- 3 上記1・2と既存の施設を活用した、オールシーズンでの連携による観光戦略・地域活性化のアイデア把握

#### 【対話実施時期】

平成30年9月25日(火)～10月5日(金) ※参加状況により変更の可能性があります。



公共施設マネジメント推進に対する皆さまの意見をお聞かせ下さい。  
ニュースレター第8号にもご期待ください。

◆今までのニュースレターや公共施設マネジメントの情報は、長野市ホームページ「組織で探す」公共施設マネジメント推進課 をご覧ください。

長野市 総務部 公有財産活用局  
公共施設マネジメント推進課  
〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町1613番地  
Tel: 026-224-7592 Fax: 026-224-7964  
E-mail: koukyou@city.nagano.lg.jp

◆ 挿入キャラクター等の作画は、長野俊英高等学校 漫画研究部の協力を得ています。



## 長野市公共施設マネジメント

ニュース・レター Vol. 7

平成30年9月 長野市

第7号

### 長野市の公共施設(建築物)の現状をお知らせします

本市の公共施設の現状について、平成25年10月に公表した公共施設白書から5年が経過したことから、本年4月1日時点の集計結果の概要をお知らせします。

施設保有量のうち延床面積が、約154万㎡から約160万㎡に増加していますが、第一庁舎・芸術館、斎場整備、ごみ処理施設周辺整備、長野Uスタジアム、第四学校給食センターなどの大規模プロジェクト事業によるものです。(詳しくは当課のホームページをご覧ください)

### 白書との比較(施設総量)

項目	白書 【H25.4.1現在】	現状 【H30.4.1現在】	増減	
対象施設	200㎡以上	全施設	-	
人口(人)	385,150	378,389	- 6,761	
施設保有量	施設数(施設)	815	813 (1,383)	- 2
	棟数(棟)	2,082	2,706 (3,466)	+ 624
	延床面積(㎡)	1,542,946	1,609,266 (1,673,943)	+ 66,320
市民一人当たり 面積(㎡/人)	約 4.0	約4.3 (約 4.4)	+ 0.3	
老朽化 (築30年以上)	割合	44%	45% (46%)	+ 1%
	面積(㎡)	679,418	723,452 (767,724)	+ 44,034

現状の( )内は、白書対象外施設を含めた数字

平成30年2月の総務省通知(下記参照)に基づき、市が保有する全ての施設を対象に集計していますが、インフラである上下水道施設の建築物や排水機場等は除いています。

建築物の施設総量については、今後、毎年度公表していくこととし、インフラ施設についても、施設量を集計する方法等を整理して、建築物と併せて定期的に公表する方向で検討しています。

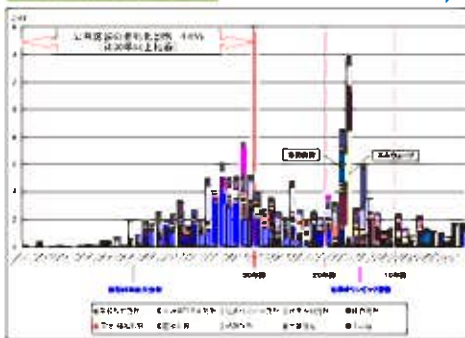
なお、将来の改修更新費用などのコストについては、作成中の中長期保全計画(次ページ参照)を策定後、今年度中に改めてお知らせする予定です。

平成30年2月総務省通知「公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針の改定について」(指針抜粋)公共施設等及び当該団体を取り巻く現状や将来にわたる見通し・課題を客観的に把握・分析すること。なお、これらの把握・分析は、公共施設等全体を対象とする。

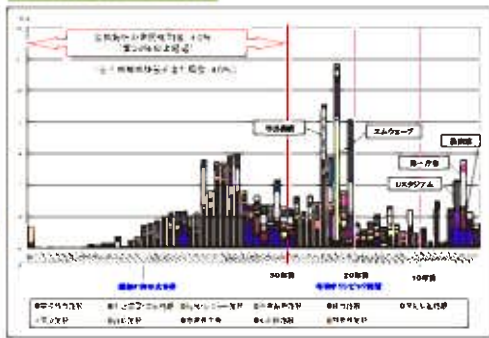


## 建築年別整備状況

### 公共施設白書



### 公共施設の現状



築30年以上の老朽化した建築物の面積が、約44%から約45%に増えていますが、今後、エムウェーブをはじめとする大規模なオリンピック施設も、今から7~8年後には、一斉に築30年を迎えることとなり、老朽化対策として、大規模な改修工事が必要となります。

なお、白書と現状のグラフで山の形状が違うのは、建築年の分け方を年から、年度ごとに変えているためです。

当面20年間で20%の縮減目標を掲げている中、現時点で施設量が増えているという現状を確認し、より一層公共施設マネジメントを推進していかなければならないと考えています。

## インフラ長寿命化基本計画が求める 個別施設の計画づくりも進めています

人口減少時代を迎える中、公共施設の老朽化対策は全国的な課題です。国は平成25年に「インフラ長寿命化基本計画」を策定し、全国的な取組を進めています。

### ◇ 平成29年3月「長野市公共施設等総合管理計画」を策定しました

長寿命化基本方針（事後保全から計画的予防保全への転換）、公共施設再配置計画（第一次）を示し、「市民合意形成」「民間活力の導入」等に取り組みながら、公共施設マネジメントの推進を図ることとしています。

### ◇ 平成32年度（2020年度）までに「個別施設計画」の策定を進めます

公共施設等総合管理計画に基づき、施設分野別（小学校・市営住宅等）の、具体的な対応方針を定める計画として、点検・診断によって得られた個別施設の状態や、維持管理・更新等に係る対策の優先順位の考え方、対策の内容や実施時期を定めるものです。

国では、学校、市営住宅など所管省庁ごとに策定を求める施設を定めていますが、本市では全ての施設を対象に策定することとしています。



現在、計画的な予防保全を実施するため、建物の状況に応じた改修等の実施内容、予定年度、概算額を建物部位ごとに設定し、保全予算の推計に利用するための「中長期保全計画」の策定作業も進めています。

## 市民の皆さまと公共施設マネジメントについて考える取り組み

### 篠ノ井高等学校で出前授業を開催しました

平成30年6月1日（金）、5日（火）、8日（金）の3日間、篠ノ井高等学校で1年生240名に出前授業を行いました。

市職員が講師を務め、「篠ノ井地区の公共施設」「公共施設の老朽化問題」「将来の為にみんなに考えて欲しいこと」などをお話ししました。

授業終了後のアンケートでは、生徒の皆さんから「少子高齢化における影響が、公共施設において深刻であることがわかった」「身近な所の話なのでわかりやすかった」「施設の老朽化対策費用に問題が潜んでいるとは思わなかった」「自分たちの未来のために公共施設について考えていこうと思った」など、驚きから前向きな意見まで、様々な感想をいただきました。

これからもみんなと一緒に考えていきましょう。



### 公共施設を考える市民ワークショップ

今年度の地区別ワークショップなど市民の皆様と一緒に考える取組みは、終了した戸隠・信更・第五地区を含め6地区で開催しています。今年度は、信州大学工学部建築学科の先生や学生の皆さんにも数多く関わっていただき、地区外や若い方々の視点も多く含まれたワークショップになっています。

ワークショップ形式で開催している地区では、飛び入り参加も大歓迎です。もちろん、見学だけでもOKですので、是非ご来場ください。

#### これからの開催予定

※平成30年9月10日時点の情報です。日時・会場等変更になる場合があります。

地区名/	会場	日程
豊野	豊野支所会議室	9月15日(土)15:30~17:30
岩瀬	岩瀬コミュニティセンター	9月29日(土)、10月20日(土)、11月11日(日) 全て14:00~16:00
鬼無里	鬼無里活性化センター	11月17日(土) 9:30~12:00 12月15日(土)14:00~16:30 1月26日(土) 9:30~12:00

### 清泉女学院大学との連携~ナガ/文系女子の公共施設マネジメント~

平成30年6月13日（水）から毎月数回の活動で、調査研究を行っています。学生自らが考えるプロジェクトについて、次号のニュースターでお知らせします。お楽しみに。